



# 生涯サポートコスモ

Vol.13

平成 31 年  
(2019.1)

## 「設立の原点に立ち返って」 座談会（その2）

コスモも、平成 21 年 9 月に前身の研究会がスタートして 9 年が、また平成 24 年 10 月の社団設立から 6 年が経過することになります。今回、座談会として、コスモのこれまでとこれからについて、歴代代表理事の方々にお話を伺いました。今回は、その 2 回目です。

萩原) 前回のまとめとして、東京都社会保険労務士会 練馬支部のメンバーを中心に年金の専門家である社会保険労務士として障がい者の方たちへのサポート、特に障害年金の受給に向けた支援をしていこうということでもとまり、年金相談会を毎月開催してきたというところまででした。

その後、平成 24 年 10 月の一般社団法人 年金トータルサポート・コスモの設立になってくるわけですが、この辺の経緯はどうだったのでしょうか？



設立総会 H24.9.24

桑原) 年金相談会が 2 年経過し、相談者も増えてきており定着しつつあったという背景がありました。そうした中で、相談者に対する適切な対応やセンシティブな部分に触れることが多いという個人情報保護の問題、そして継続性というような諸々の課題に対処するためには自主研究会という組織では限界があると考えようになったことがありました。法人化することで責任ある対応を担保する、組織として事にあたるといふ部分を明確にするということです。

萩原) 自主研時代の議事録をみると平成 23 年 8 月頃から将来の活動方針が議題になっており、最初は NPO 法人を考えていたことが記録されています。また、平成 22 年 9 月開催の議事録には、「精神に障がいを持つ方々を支えるグループ」とありますが、次の 10 月開催の議事録では「年金トータルサポート・コスモ」という名称に変更されています。まずこの辺の事情について伺いたと思います。

設楽) 初めは花の名前をつけたいと思って最初にコスモスが出てきて、コスモスより宇宙の広がりを持つコスモの方が良いよということで『コスモ』にしようという話になったかと。

### 誌名:「生涯サポートコスモ」について

活動のスタートであった障がい者の方をサポートさせていただきたいという思いに、高齢・遺族年金、ライフプラン、就労支援など生涯にわたるサポートを目指す意味を重ねております。

### ●困ったときのご相談は、NTS コスモにお任せください！

- ①障害年金をはじめとした高齢・遺族を含む年金全般に関するご相談
- ②成年後見 ③ライフプラン ④就労支援およびカウンセリング
- ⑤メンタルヘルス体制の構築

編集  
発行

一般社団法人  
**年金トータルサポート・コスモ**  
〒176-0025  
東京都練馬区中村南1丁目22番8-605号 恒陽鷺宮マンション  
TEL: 03-3998-9006 FAX: 03-3998-9006

HP: <http://ntscosmo.com/> E-mail: [jimu-kyoku@ntscosmo.com](mailto:jimu-kyoku@ntscosmo.com)

松尾) 石油会社の名前にもあるよというような意見も出たが、花のようなやさしさで包もうという部分と宇宙のような広がりを持たそうという部分の両方をコスモという名前でイメージしようということになったものですね。

萩原) 今振り返ると活動の基本となる方針・姿勢がメンバーの中にしっかりと入っていたので、その思いがネーミングにきちんと出てきているような気がしますね。

桑原) コスモのマークの四葉のクローバーも良いですね。これは齋藤さんの発案でしたね。

萩原) 記録を見てみると四葉のクローバーが幸せをイメージさせてコスモにふさわしいということがあり、そして精神障がい者ご本人、そのご家族、医療従事者、ケースワーカーなどの福祉関係者という関連する方々を4つの葉で象徴しているとあります。

また、一つひとつの葉は「ハート＝心、幸福、温かさ」にも通じることもあります。このような意味づけを踏まえて正式にコスモのマークとなったものです。

設楽) ネーミングについては、途中から生涯をつけようということになりました。これは、コスモの活動の対象として生涯生活設計、ライフプランの意味も入れたいという飛田さんの提案ですよ。当社団を一言で表現すると年金などの専門家である社会保険労務士として、障がいをお持ちの方々を生涯にわたってサポートさせていただきますよということですね。

松尾) その関連で、家族会とのつながりを通して成年後見についての話をいただいたというのもあります。家族会さんとは社団設立前から定期的に勉強会を開催していて、そのようなご縁で障害者フェスティバルへも参加するなどしていました。このような地道な活動を通じて、同じ目線での活動ができていたという部分もありましたね。コスモがこれからも活動を積み重ね、組織が大きくなったとしても、障がい者などの困っている方々に寄り添った活動、サポートをしていきたいという姿勢はメンバー一人ひとりがいつまでも大切にしていきたいものですね。

萩原) そこで最初の社団法人設立の話に戻りたいと思います。社団法人の設立は平成24年10月1日でしたが、なぜ社団法人だったのでしょうか？

桑原) 先ほどの話にもあったように責任をもった支援をするための組織化という部分がまずありました。その上で、NPO法人にするか社団法人にするかということになった時に、NPOは会員を限定できないということが分かった。我々は、年金相談などで非常に機微にわたる個人情報扱うという性格から個人情報の保護というものが厳格に要求されてくる。NPOではそのところが十分に担保できないのではないかとというのが決定的な部分でしたね。

萩原) 事務局として社団設立に関連した事務作業を担当しましたが、定款の事業内容を検討するときに、現在の主な事業内容のほとんどがすでに自主研究会時代の会則に入っていたという印象に残っています。細部にわたって吟味した定款を練馬駅前の公証役場で認証を受けたときは、やったーという達成感がありました。定款には設立時社員を明記する部分があるのですが、改めて数えてみると18名の方々が登場していますね。そうしてよいよ平成24年9月24日、石神井公園区民交流センター会議室において設立総会が開催され、正式に一般社団法人年金トータルサポート・コスモの発足ということになりました。(次号へ続く)



年金相談会参加メンバー



障害者フェスティバルの様子

## 第7回年金ゼミナール 基本コースを開講しました

年金相談対応者を養成するための第7回年金ゼミナール 基本コースが、平成30年11月3日、18日、12月1日および24日の4日間で開催されました。講師は、飛田隆志氏、石渡攻氏を中心に、松尾英典氏が10年年金を、設楽徹氏が年金一元化をそれぞれ担当しました。今回は受講者の中からお二人に受講した感想を寄稿いただきました。

### 《年金ゼミナール基本コースを受講して》

今回、年金ゼミナール基本コースを受講させていただき、改めて自分の年金に関する知識が不足していることを痛感いたしました。普段の業務の中で年金実務をすることがなく、年金の勉強自体も社労士試験を受験した時に基本部分を勉強しただけでした。

今回、講師の先生方から現場における実体験を基にした実務における考え方を勉強させていただいたことは、大変有意義でためになりました。何より自分自身の中で年金というものに対する意識が変わったことが大きかったです。是非プロコースも受講させていただき、さらに勉強を重ねていきたいと思っています。（会員 松田剛志）



講師：石渡攻理事

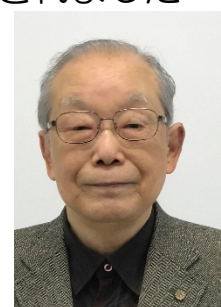
社労士試験の勉強をしている時は年金が一番好きだったのですが、合格後勉強をしてこなかったため基本的な部分さえすっかり忘れてしまっておりました。そのような状態で、今回基本コースを受講させていただき、私にとっては若干難しく感じる部分もありましたが、とても丁寧に教えてくださり最後まで挫折することなく楽しく受講することができました。

テキストも相談を受ける上で必要な情報は全て載っているとの事ですので、使いこなせる様になりたいと思います。講師の先生方の様に詳しくなるには何年もかかるとは思いますが、私も先生方の様になりたいと思いました。漠然と勉強するのは難しいと思いますので、目標となる方々がいることは大変ありがたいです。（会員 吉岡麻貴）

## 障害年金裁定請求実務の基礎 第6版・増補改訂版 が発行されました

従来、年金ゼミナール 基本コースのテキストとして使用されてきましたが、会員以外の特に障害年金相談に従事する方向け必携書としての第6版・増補改訂版が平成30年9月25日付けで発行されました。

第5版との比較では、①平成30年版の最新数値に改定、②給付制限と他法（健康保険、雇用保険、労災保険による障害補償等）による給付との併給調整について詳述、③被用者年金一元化後の障害共済年金の新設、④受診状況等証明書の第3者証明部分の詳述、⑤不支給決定部分の全面改定、⑥巻末資料のさらなる充実などが特徴してあげられます。



編著者 篠原忠理事・副会長

編著者の長年の実務経験を踏まえて精選されたポイントが、最新の法改正等を反映した最新版となっております。障害年金の相談や実務に関係する方々にぜひお勧めしたい一冊です。

◎購入（頒価 4,000 円（税別））を希望される方は、コスモ HP <http://www.ntscosmo.com/> を参照ください。

「活動の記録」：(平成 30 年 9 月～12 月)

- ① 無料年金相談会
  - 第 93 回：平成 30 年 9 月 2 日(日)きらら
  - 第 94 回： 10 月 7 日(日)ういんぐ
  - 第 95 回： 11 月 4 日(日)きらら
  - 第 96 回： 12 月 2 日(日)ういんぐ
- ② 年金相談会(障害/遺族/高齢、成年後見)：Coconeri
  - 第 58 回：平成 30 年 9 月 15 日(土)
  - 第 59 回： 10 月 6 日(土)
  - 第 60 回： 11 月 17 日(土)
  - 第 61 回： 12 月 22 日(土)
- ③ 年金無料相談会：勤労福祉会館
  - 第 30 回：平成 30 年 9 月 8 日(土)
  - 第 31 回： 10 月 13 日(土)
  - 第 32 回： 11 月 10 日(土)
  - 第 33 回： 12 月 8 日(土)
- ④ 年金ゼミナール基本コース(全 4 回)
  - 平成 30 年 11 月 3 日(土)、18 日(日)、
  - 12 月 1 日(土)、24 日(月・祝)
- ⑤ 障害年金裁定請求実務の基礎 第 6 版・増補改訂版発行：
  - 平成 30 年 9 月 25 日

「今後の予定」：(平成 31 年 1 月～4 月)

- ① 無料年金相談会
  - 第 97 回：平成 31 年 1 月 6 日(日)きらら
  - 第 98 回： 2 月 3 日(日)ういんぐ
  - 第 99 回： 3 月 3 日(日)きらら
  - 第 100 回： 4 月 7 日(日)ういんぐ
- ② 年金相談会(障害/遺族/高齢、成年後見)：Coconeri
  - 第 62 回：平成 31 年 1 月 19 日(土)
  - 第 63 回： 2 月 23 日(土)
  - 第 64 回： 3 月 16 日(土)
  - 第 65 回： 4 月 20 日(土)
- ③ 年金無料相談会：勤労福祉会館
  - 第 34 回：平成 31 年 1 月 12 日(土)
  - 第 35 回： 2 月 9 日(土)
  - 第 36 回： 3 月 9 日(土)
  - 第 37 回： 4 月 13 日(土)
- ④ 年金ゼミナールブロコース(全 4 回)
  - 平成 31 年 1 月 26 日(土)、2 月 24 日(日)、
  - 3 月 2 日(土)、23 日(土)
- ⑤ 障害年金講座/勉強会
  - 平成 31 年 2 月 17 日(日) きららとの共催
  - 3 月 1 日(金) ういんぐとの共催
- ⑥ 練馬つながるフェスタ：平成 31 年 2 月 2 日(土)



会員紹介 ⑱

会員  
横山 優子

NTS コスモの編集委員のひとりとして、広報誌の編集に携わっています。開業して間もない頃、東京都社会保険労務士会の自主研究会の一つである「障害年金研究会コスモ」に入会したことがきっかけで当社団法人の会員になり、活動に参加させていただくことになりました。

社労士としての開業前は外資系企業で厚生年金基金の職員として年金に関わってきました。その知識と経験を活かして年金を得意分野とする社労士をめざしていたところ、コスモの障害年金無料相談会に参加する機会を得、障害年金においても実践的な経験を積むことができました。

障害年金にしても高齢年金にしても法改正や取扱要領が変更になるなど複雑さを増す一方ですが、相談者の方に喜んでいただけると社会保険労務士になって本当に良かったと思います。そしてこれからも、少しでもお役に立てるような自分でありたいと考えています。



会員紹介 ⑳

会員  
赤岩 幸一

70 歳でようやく社労士試験に合格し、即開業しました。「障害年金で行くぞー」と勇ましくスタートしたのですが、茨の道でした。自主研究会コスモの定例会、一般社団法人コスモの研修会に参加しいろいろ学びました。コスモの書籍も大変役に立ちました。また先輩会員の方が親切に教えて下さり、何度も困難を乗り越えてきました。感謝です。

早くも今年で開業 5 年目になりますが、お陰様で仕事としての障害年金もやっと軌道に乗り始めました。多くの障害者支援の方々とお話しさせていただき、主にその方々の紹介で仕事をさせていただいております。障害年金の仕事は、一件一件が全く異なる経過をたどっております。まさにフルオーダーで対応しなければなりません。何件経験しても分からないことが出てきます。また本当に依頼者のお役に立つには、障害年金の知識だけでなく周辺分野の知識も必要であり、もっと勉強しなくてはとの思いを強くしております。